

Brave New Words: How AI Will Revolutionize Education (and Why That's Good Thing)

橋本 大也 HASHIMOTO Daiya

デジタルハリウッド大学 教授
Digital Hollywood University, Professor

世界最大級のオンライン学習サービスであるカーン・アカデミー創設者サルマン・カーンが、生成AIが教育に与える影響について論じた。人間は何を学ぶべきか、教師は何をすべきか、教育はどう変わるのか、テクノロジーで教育の新しい形を作り出してきたカーンが、説得力たっぷりの持論を展開した。ビル・ゲイツは、「教育の未来について、サルマンほど鋭い洞察力を持つ人物はいない」「AI時代の教育に興味があるすべての人にとってのマスタークラス」と絶賛し、2024年夏の読書リストで紹介した。

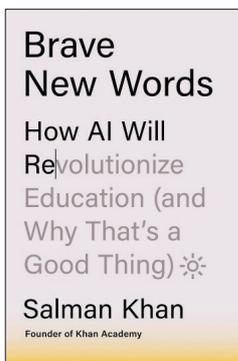
カーン・アカデミーは早くよりオープンAIと提携して、ChatGPTをベースにした教育チャットボット「Khanmigo」をリリースした。Khanmigoは生徒一人ひとりの進捗を追跡し、個々のニーズに応じた指導を行う。教育において効果があると多くの研究者が認めているのが、学習者にパーソナルチューターをつけることだ。しかし、これまではこの施策はコストが高すぎて、一部の富裕層のみが採用してきた。しかし、生成AIを使えば、「アレクサンダー大王にとってのアリストテレス」のような賢者のパーソナルチューターをつけることができるとカーンは述べた。

そしてKhanmigoによる学習の様子を紹介した。歴史のクラスでは、学生がKhanmigoを使って歴史上の人物を呼び出して会話をする。たとえばリンカーン大統領に直接、彼の意思決定の理由を聞くことができる。歴史上の人物だけでなく、合衆国憲法に各条項の説明を聞くこともできる。創作の時間では、子どもが登場人物と対話しながら、物語を共作することができる。数学やプログラミングでもAIは人間以上に有能な先生になる。

教師と保護者は、AIを利用して子どもの学習進捗をモニターし、適切なフィードバックを提供する役割を担う。カーンは教師が不要になるとは書いておらず、より創造的で人間的なサポートに集中することができるようになるという。そして人間は、これまでより一つ上の視点で物事を見るようにしなければならないとカーンは主張する。

カーンによると近未来には、就職面接がなくなるかもしれない。学生の学習プロセスを見てきたAIは、学生のことを誰よりも知っているエージェントだ。このエージェントが、企業のリクルーターのエージェントと対話して、最適な仕事を見つける。人間同士が面接をする必要がないのだ。

カーンのユーモアのセンスもこの本の魅力の一つ。彼の軽妙な語り口は、難解なテーマを扱いつつも読者を飽きさせない。彼は、AIがどのようにして教育の質を高め、学習体験をパーソナライズできるかを、生き生きとした具体例を交えて説明している。AI技術の倫理的側面、データ収集やバイアスの問題についても丁寧に考察しており、単なるテクノロジー賛歌ではない、バランスの取れた、テクノロジー教育の必読書だ。



『Brave New Words: How AI Will Revolutionize Education
(and Why That's Good Thing)』

Salman Khan 著, 2024

発行: Viking